

文部科学省「職業実践力育成プログラム」 山口大学 「馬救急医療実践力育成プログラム」のご案内

山口大学では、馬の救急医療に必要な知識および技術をHands-onプログラム、E-ラーニング（事前学習、IT活用グループ討論など）を通して社会人の学び直しのためのリカレント教育（大学卒業後の人材育成）を行っています。

これらのカリキュラムや実績を下に、「仕事」や「家事・育児」が忙しく自己啓発の余裕のなかった社会人、「適切な教育訓練機関が見つからない」や「教育コースの情報が得られにくい」、あるいは「どのようにして情報を入手するかわからない」などの事情を有する社会人に対して「馬救急医療」の実践的思考、知識、技術等を学ぶ機会を提供するため、履修証明制度¹⁾の要件を満たした「馬救急医療実践力育成プログラム」を新たに開設しました。

また、このプログラムは、大学・大学院・短期大学・高等専門学校における学び直し、及び社会人のスキルアップを推進している文部科学省より2018年に職業実践力育成プログラム（教育BP）²⁾として認定されました。

- 1) 「履修証明制度」とは文部科学省が推奨する、大学が学生の教育や研究に加えて、より積極的な社会貢献として、社会人向けに体系的な学習プログラムを開設し、その修了者に対して、法に基づく履修証明書を交付できる制度です。
- 2) 「職業実践力育成プログラム」とは大学等における社会人や企業等のニーズに応じた実践的・専門的なプログラムを「職業実践力育成プログラム」（BP）として文部科学大臣が認定することとしました。

- ・対象：獣医師（経験者・未経験者不問、年齢不問）
- ・定員：10名
- ・受講料：120,000円（履修時間120時間）
- ・応募期間：令和2年1月14日～令和2年2月28日まで
（定員になり次第締め切ります。）
- ・プログラムの期間：令和2年4月1日～令和3年3月31日（1年間）

※ プログラムの特色・シラバス詳細・募集要項・申込書ダウンロード・履修証明プログラム履修許可願については山口大学共同獣医学部HP (<http://www.vet.yamaguchi-u.ac.jp>) の説明をご覧ください。

- ・お問い合わせ先（Email: nsasaki@yamaguchi-u.ac.jp 佐々木直樹）
- ・申し込み先：山口大学共同獣医学部学務係
〒753-8515 山口県山口市吉田1677-1
TEL：083-933-5808
FAX：083-933-5812



Brush up Program
for professional

馬救急医療実践力育成プログラム 時間割

科目		開催日	8:00-12:00	13:00-17:00	18:00-20:00	20:00-22:00
自己事前学習	1日目	e-ラーニング	①一般診断治療手技(血液検査・静脈留置・感染症診断・バイオプシー・内視鏡・超音波)	②ショックとSIRSの管理、緊急時の麻酔・疼痛管理・栄養学ガイドライン		
	2日目	e-ラーニング	③重度外傷の標準的治療ならびに形成外科基本手技	④眼・鼻・副鼻腔・咽喉頭・気管・肺の疾患の診断治療法		
	3日目	e-ラーニング	⑤胃・腸・肛門・ヘルニア・心臓の疾患の診断治療法	⑥泌尿・生殖器の疾患の診断治療法		
	4日目	e-ラーニング	⑦口腔・歯の疾患の診断治療法	⑧筋肉・腱・靭帯・腱鞘・滑液包の疾患の診断治療法		
	5日目	e-ラーニング	⑨骨・関節の疾患の診断治療法	⑩蹄・新生児の疾患の診断治療法		
集中実習	1日目	8月24日(月)	①一般身体検査 Hands-on(医療面接、診察、保定、採血、注射法、経鼻・経口投与法、歯科)	②眼科Hands-on(各種検査法、局所麻酔法、角膜縫合、結膜フラップ、点眼留置、眼瞼縫合)		
	2日目	8月25日(火)	③循環器科 Hands-on(心臓疾患の病態と病理解剖法、心電・心音図検査、超音波検査)	④呼吸器科 Hands-on(咽喉頭・喉嚢観察、気管支肺胞洗浄、円鋸、永久気管開口術)	①グループディスカッション	②グループディスカッション
	3日目	8月26日(水)	⑤運動器科 Hands-on(歩様検査、触診、診断麻酔法、関節鏡、屈腱超音波)	⑥消化器科 Hands-on(直腸検査、超音波検査、腹水検査、経鼻胃カテーテル)	③グループディスカッション	④グループディスカッション
	4日目	8月27日(木)	⑦画像診断科 Hands-on(X線撮影法、フィルムリーディング、四肢局所解剖、CT、MRI、核医学)	⑧整形外科 Hands-on(キャスト固定、AO法整形外科)	⑤グループディスカッション	
	5日目	8月28日(金)	⑨生殖器科 Hands-on(生殖器解剖、超音波検査、直腸検査)	⑩麻酔科・病理診断科 Hands-on(倒馬・覚醒法、麻酔管理、局所解剖診断法)		
IT活用グループ討論	1日目	e-ラーニング			①症例ディスカッション	①症例学習レポート作成
	2日目	e-ラーニング			②症例ディスカッション	②症例学習レポート作成
	3日目	e-ラーニング			③症例ディスカッション	③症例学習レポート作成
	4日目	e-ラーニング			④症例ディスカッション	④症例学習レポート作成
	5日目	e-ラーニング			⑤症例ディスカッション	⑤症例学習レポート作成
	6日目	e-ラーニング			⑥症例ディスカッション	⑥症例学習レポート作成
	7日目	e-ラーニング			⑦症例ディスカッション	⑦症例学習レポート作成
	8日目	e-ラーニング			⑧症例ディスカッション	⑧症例学習レポート作成
	9日目	e-ラーニング			⑨症例ディスカッション	⑨症例学習レポート作成
	10日目	e-ラーニング			⑩症例ディスカッション	⑩症例学習レポート作成

プログラムの特徴

* 全国どこからでも受講可能です。集中的に山口大学でのHands-on臨床実習・グループディスカッションの講義時間はありますが、事前自己学習・症例ディスカッション・レポート作成についてはeラーニングなどITを活用した授業形態ですので夜間など、自分の都合のよい時間帯に講義を受けることができます。

* 1年間で120時間の授業の受講が必要です。なお、120時間のプログラムを修了すると、山口大学から学校教育法に基づく履修証明書が発行されます。取得した履修証明書は履歴書や名刺に記載できます。

* 正式名称：山口大学共同獣医学部履修証明プログラム「馬救急医療実践力育成プログラム」修了認定

* このプログラムは、1月に募集開始します。4～7月に事前自己学習として馬救急医療に必要な知識についてeラーニングを用いて40時間学修します。8月には集中実習として山口大学で、馬救急医療Hands-on臨床実習を40時間ならびにグループディスカッションを10時間実施します。9～12月にeラーニング（IT活用）を用いた症例ディスカッションを10時間とレポート作成を20時間を履修します。

Hands-on臨床実習（集中実習）の概要

- 1：目標 馬の救急医療に必要な知識および技術をHands-onプログラムを通して学び直しましょう。
- 2：対象 獣医師（経験者・未経験不問）
- 3：定員 10名
- 4：期間 2020年8月24日（月）から8月28日（金）
- 5：場所 山口大学動物医療センター2Fセミナー室、産業動物診療室等
- 6：持参品 白衣、術衣など・長靴・帽子・聴診器・秒針つき時計。
- 7：備考 実習の生体材料の準備の都合上、モデル、屠体を用いた実習となる場合があります。
- 8：講師

山口大学：佐々木直樹（コーディネーター）	外部講師：山田一孝（画像診断・麻布大）
田浦保穂（外科）	石原章和（整形外科・麻布大学）
高木光博・谷口雅康（繁殖）	兼子樹広（循環器・元BTC）
上林聡之・砂原央（循環器）	宮越大輔（繁殖・NOSAIみなみ）
森本将弘・坂井祐介・櫻井優（病理）	佐藤正人（眼科・NOSAIみなみ）
井芹俊恵（麻酔）	